

陳 情 文 書 表

受理番号	31第1号	受理年月日	平成31年1月30日
陳 情 者			
件 名	目黒区碑文谷5丁目26番15号認可保育園設立計画に関する陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>平素は骨身を惜しまず区民のために甚大なる尽力を尽くされている区議会先生方、区役所の方々には常々感謝いたしております。</p> <p>この土地には生活し始めて数十年、二代目三代目の住民が多い場所になります。高額税金を納税してまいりました。閑静な住宅地に突然降って湧いた出来事です。第一種低層住宅専用地域の許容範囲いっぱいの鉄骨造り三階建ての施設が計画されています。この地域にそぐわない建物と思います。計画は見直されるべきと考えられないでしょうか。</p> <p>この予定地は「立地の的確性」を著しく欠いています。</p> <p>八雲方面から環七を横断して駒沢通りや渋谷方面への抜け道で、通勤時には、スピードを緩めず自家用車、タクシー、トラックなどが走り抜けます。無意識にスピードが出やすい道路です。また予定地前の交差点は、二方面のどちらも一方通行で、下り坂が交差しているため、スピードを緩めない自転車、二輪オートバイと自動車、一方通行を逆走する車などの接触事故が頻繁に発生しています。保育園予定地の出入り口の向かい側には車庫が2ヶ所あり、車の出し入れにも危険が伴います。</p> <p>区内における保育園が平成31年度には20ヶ所、学芸大学駅周辺では7ヶ所が、近隣の碑文谷5丁目、鷹番1、3丁目には4ヶ所が開園予定です。目黒区全域では待機児童が多いのは理解していますが、地区の入所園児数の格差はあります。当地区は募集枠が乳幼児数より上回る状況になります。また乳幼児全てが保育園に入園する訳ではありません。</p> <p>厚生労働省の統計によると待機児童のピークは過ぎ、来年以降の出生数もより減少すると予測されています。将来的には建物が形骸化する状態が予想されます。その時どうなるのか不安感がつのります。</p> <p>建設予定地から歩いて数分の碑文谷6丁目13の場所（日大プール横）に三年前から計画されたままの目黒区所有の保育園建設予定地があります。多くの親が望むグラウンドのスペースもとれます。近隣住民の反対で建設が未だに着手されておりません。区所有地での保育園建設が優先されて、建設後になお必要であれば、私達が反対している予定地を検討されるのが順当ではないでしょうか。</p> <p>昨年区役所保育施設整備課には、3回陳情に参りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地の危険性につきましては、 			

「交通量が激しいのは都内どこも一緒です。」との回答で、事業者に一層の安全対策を求めるとのことでした。

- ・待機児童が少ない地区につきましては、

「碑文谷5丁目には待機児童が少なくても、環七を渡ってドッと！来ます。当地区にはスキルの高い親が多いので、十人の親がいたら十人保育園に入れたいと希望しています。」との回答でした。私達は親の選択肢として、幼稚園、その他もあると思います。また、0才から1才児が特に足りないとのことですが、大きな器を建設するよりも、小規模な託児所などを検討されるべきだと思います。

- ・少子化に伴う保育園の経営的な不安につきましては、

「10年間は区から補助金が出るので心配いりません。」事業主からは「10年でペイできます。」との回答でした。

- ・「開設を予定している事業主の申請にはお断りされる場合もありますよね？」との問いには、

「断りません。」とのことでした。

陳情の終了間際には、「民事にすればいい。」(不安に思い弁護士数人に問合せ)、「国がお金を出すから保育園は建ちます。」「もう区役所に来て下さっても無駄です。」とのお話でした。民事訴訟の発言や、来訪を拒否した区役所は、親身になって区民に対応すべきではなかったのではないのでしょうか？

この予定地は世田谷区下馬6丁目に隣接しているため、世田谷区からの入園児も期待している旨開設予定の事業主からお聞きして、世田谷区役所の保育課に問合せしました。世田谷区からは「碑文谷5丁目に越境しての入園予定はありません。」また「この地域は乳幼児が少ない場所です。需給バランスは大切です。」「世田谷区では大半が幼稚園に行きます。」とのご返答でした。区によって行政の方針は異なると思いますが、そういう考え方もあると思います。

繰り返し申し上げますが、当該地域周辺の出生数と保育園の定員枠、保育園を利用する人の割合などを再度、精査していただきたくお願い致します。

また区議会議員須藤甚一郎先生には経緯をお話しし、陳情書の手続き方法についてレクチャーを受けました。

区民の税金の無駄遣いを大変、危惧、憂慮しております。設立計画の認可を下ろさないように重ね重ねお願いいたします。私達の切実な思いを察して下さい。以上「(仮称)目黒碑文谷雲母保育園」保育園設立計画反対の陳情を申し上げます。

【陳情事項】

株式会社モード・プランニング・ジャパンが2020年4月1日開園予定している目黒区碑文谷5丁目26番15号「(仮称)目黒碑文谷雲母保育園」の設立計画に反対し、設立計画申請には認可を下ろさなくご判断頂きたく陳情いたします。

- 1 立地の危険性があります。当該立地は環状七号線から駒沢通りへの抜け道の交差点の一面にあります。さらに下り坂の危険な場所です。
- 2 碑文谷公園運動場前の区有地に保育園設置の話がありますが、地域の反対で進められていない。区有地の建設が優先されるべきであります。
- 3 当地域には十分な保育園施設があります。待機児童はカバーできるのに、これ以上の保育園建設は多額な補助金の無駄使いと考えます。
- 4 目黒区碑文谷5丁目26番15号の周辺の静かな住宅地にそぐわない施設です。